

東大和 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 組～ 組

使用教科書： （ 高校生の音楽 1（教育芸術社） ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想・音楽の構造・歌詞等を理解している。曲にふさわしい演奏の技能を身に付ける。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、感受しながら表現に創意工夫をする。	積極的に音を出す姿勢・主体的な鑑賞に取り組みようとしている姿勢・態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創					
【知識及び技能】 「知」曲想や音楽の構造や歌詞など音楽の構造を理解している。音楽に関する記号や読譜・記譜法について理解している。 「技」創意工夫を活かした発声を身に付けるために曲にふさわしい発声や体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりを理解して自らのイメージをもって表現することが出来る。音色について考え、リズムを知覚して生き生きとし演奏する表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 表現や鑑賞などに関わってくる音や音楽及び文化に対して関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。	「歌唱」 ・教科書『つばさをください』『東大和高校校歌』『Calo mio be』	○			【知識及び技能】 創意工夫を活かした発声・音の出し方を身に付けている。正しい音色やリズムなどの知識を身に付け演奏できている 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりを理解してイメージをもって表現している 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声・演奏法・楽譜の読み方などを身に付け、学習活動に主体的・協働的に取り組みようとしている	○	○	○	16
	「ボディーパーカッション」 ・教科書『クラッピング・カルテット』		○						
	【鑑賞・音楽史】 西洋音楽史の16世紀から18世紀の時代区分ごとの作品について鑑賞をする ・MUSIC NOTE ・一人1台端末の活用「楽典」① 音楽に関する記号や読譜を理解するための講座 ・Music Note 『音名と譜表・音符と休符』『リズムと拍子・反復記号』			○			【知識及び技能】 様々な楽器の音色を知覚し、作曲者の時代背景などを理解しその楽曲の良さを味わいながら鑑賞できている。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲における速度や強弱などの要素を知覚しその働きを感受しつつ味わい鑑賞できている。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞した際の自らの感じた感想を解りやすい表現で的確に文章として表すことができる。	○	
1学期考査	・実技試験を2回行う ・確認小テスト ・ノート提出								
【知識及び技能】 「知」曲想や音楽の構造や歌詞など音楽の構造を理解している。音楽に関する記号や読譜・記譜法について理解している。 「技」創意工夫を活かした発声を身に付けるために曲にふさわしい発声や体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりを理解して自らのイメージをもって表現することが出来る。音色について考え、リズムを知覚して生き生きとし演奏する表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 表現や鑑賞などに関わってくる音や音楽及び文化に対して関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。	「独唱・合唱」 ・教科書『菩提樹』 合唱祭に向けて課題曲練習「楽典」② 音楽に関する記号や読譜を理解するための講座 ・Music Note 『楽語』『音階と調』	○			【知識及び技能】 創意工夫を活かした発声・音の出し方を身に付けている。正しい音色やリズムなどの知識を身に付け演奏できている 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりを理解してイメージをもって表現している 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声・演奏法・楽譜の読み方などを身に付け、学習活動に主体的・協働的に取り組みようとしている	○	○	○	18
	「三線・沖縄の音楽」 『安里屋ユンタ』『涙そうそう』			○					
	【鑑賞・音楽史】 西洋音楽史の印象派～20世紀の音楽の時代区分ごとの作品について鑑賞をする ・MUSIC NOTE ・一人1台端末の活用「楽典」② 音楽に関する記号や読譜を理解するための講座 ・Music Note 『楽語』『音階と調』			○			【知識及び技能】 様々な楽器の音色を知覚し、作曲者の時代背景などを理解しその楽曲の良さを味わいながら鑑賞できている。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲における速度や強弱などの要素を知覚しその働きを感受しつつ味わい鑑賞できている。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞した際の自らの感じた感想を解りやすい表現で的確に文章として表すことができる。	○	
2学期考査	・実技試験を2回行う ・確認小テスト ・ノート提出								

科目（講座名）	美術 I	2 単位	自由選択
教科書	Art and You 創造の世界へ	担当講師	
副教材			

学習の目標

- (1)対象や事象を捉え、造形的な視点の理解を深め、意図に応じた表現方法を創意工夫する。
 (2)主題を生成し、発想したり、構想したりする。
 (3)主体的に創造活動に取り組み、美術文化を愛好する。

授業内容

- 1) デザイン/マスキング色彩構成
- 2) 彫刻/粘土で心情表現
- 3) デザイン/オリジナル LINE スタンプ
- 4) 立体デザイン/BOX アート
- 5) デザイン/スクラップブック制作

学習方法

創造活動を通して造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ねる。

評価の観点

関心・意欲・態度	主体的に活動に取り組み、計画的に課題を完成させている。
芸術的な感受や表現の工夫	自分の表したい主題を見つけ、意図を構想している
創造的な表現の技能	材料や用具の特性などを生かして創造的な技能を働かせている。
鑑賞の能力	生活や社会の中の造形や美術の働きについて感じ、理解を深めている。

評価方法

1. 作品やワークシートの提出頻度 2. 美術作品の質の高さ 3. 出席状況、提出物など総合的に判断して評価

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	8	デザイン (マスキング 色彩構成)	① ケント紙水張り ② マスキングテープ 貼り付けと色塗り	・色彩構成について共通理解 ・画面分割と色と形が与える印象の違いについて解説 ・アクリル絵の具の特性とベタ塗りのコツを伝える
	5				
	6	10	彫刻 (粘土で心情 表現)	① アイデアスケッチ ② 心情イメージを造 形する	・心の中を色と形でイメージし やすいように色の配色と心理の 関連性を解説する ・針金を使って紙コップに安定 する形を工夫しながら作業手順 を考えて取り組む
2	7				
	9	8	デザイン (オリジナル LINE スタ ンプ)	①リサーチシートで既 存のスタンプを調査 ②アイデアスケッチ1で コンセプト考案 ③アイデアスケッチ2 でキャラに合致したス タンプを考案 ④清書して鑑賞する	・既存スタンプの模写をして特徴 について調べる ・コンセプトやターゲットユーザ ー像を決めてスタンプを具体的に 構想する ・複数の案の中から清書するス タンプを選び、メインビジュアル以 外に4パターン考えて清書する
	10				
	11	10	彫刻 (BOXアー ト)	① BOX 組み立て ② アイデア下描き ③ パーツの準備着色 ④ 仮置きを繰り返す ⑤ 設置決定	・BOX 内に自分の世界観の空間構 成をして表現するためのアイデ ア、構成方法を説明する ・使用するパーツは予め着色する ・仮置きを繰り返しながら奥行き などの見え方を考えて、設置場所 を工夫する
	12	8	デザイン (スクラッ プブック制 作)	①アイデアシートにペ ージ構成を記入する ②内容を深めページに 下描き・清書する	・スクラップ BOOK のテーマを 考え、表紙・裏表紙含む全ページ 分のアイデアを練り、シートに表 したい世界観をまとめる。

3	1 2			<p>③表紙・裏表紙の装飾に取り組み完成へと近づける</p> <p>④作品シートにテーマ・意図した世界観について・工夫点をよく整理し、まとめて記入し、提出する。</p>	<p>・配色や配置にデザイン的感覚を取り入れながら素材をコラージュ、着色して、意図した世界観を工夫して作り込む。</p> <p>・表紙や裏表紙の装飾に取り組み始め、様々な素材を使って構成し、スクラップ BOOK の世界観の入り口と出口部分をテーマに沿って意図的に表す。</p>
---	--------	--	--	--	--

科目（講座名）	音楽Ⅰ（専門音楽）	2単位	自由選択
教科書	高校生の音楽Ⅰ	担当教諭	
副教材			

学習の目標

・音楽の基礎を学ぶとともにより実践的な実技講習を行い、生徒ひとりひとりの希望進路に必要な技能の育成を目指す。

授業内容

- ・基礎的な楽典の学習
- ・キーボード等の器楽演奏の技能講習
- ・コードネームの理解と演奏実践

学習方法

・キーボード・ピアノ等の器楽を使用し、自由曲・課題曲などを演奏していく。

評価の観点

関心・意欲・態度	主体的に音楽活動に取り組み、積極的に音を出すことができる。
芸術的な感受や表現の工夫	コードネームを自ら読み取り、ハーモニーを工夫し演奏することができる。
創造的な表現の技能	演奏者自らの演奏意図や個性を出し工夫した演奏ができる。
鑑賞の能力	作曲家の時代背景や考えを理解し積極的な態度で音楽を聴くことができる。

評価方法

① 年4回の実技試験を行う。②鑑賞をした際の感想ノートを提出し、評価する。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点	
1	4	2	オリエンテーション			
	5	10	『自由曲』① キーボード・ 器楽演奏	・生徒がそれぞれ自らに必要な楽器・楽曲を選択させ練習する。	・生徒ひとりひとりの進路を意識させて、その進路実現に必要な楽器や楽曲の選択をさせる。	
		6	2	中間実技試験	・個人演奏による試験	
	7	10	『自由曲』② キーボード・ 器楽演奏	・難易度を少し上げ、選曲させ各自のペースで練習する。	・個々の選択した曲をチェックし、演奏可能かどうかを確認する。	
		2	期末実技試験	・個人演奏による試験		
2	9	4	『コードネームについて』 理解	・コードネームと3和音の構造や仕組みを理解する。	・3和音の基本的な構造とメロディーとの関連性に気付かせ、コードネームという新しい分野への興味を高めさせる。	
		8	『課題曲』の 練習	・簡易な曲をコードネームの知識を使用して伴奏を創作し、練習する。	・左手の伴奏が困難な生徒はベース伴奏から練習をさせる。	
	10	2	中間実技試験	・個別演奏による試験		
		11				
	12	12	『コードネーム』演奏実践	・それぞれ自由曲を選び、コードネームを使用して伴奏を創作し、練習する。	・生徒個々の思い出がある曲を選ばせることにより、練習へのモチベーションを高めさせる。	
		2	期末実技試験	・個別演奏による試験		
3	1	1 6	『ミュージカル鑑賞』	・ミュージカルの歴史を学び、その特徴を味わいながら鑑賞する。感想をノートに書く。	・DVDなどの視聴覚教材を使用して、作曲家の意図を理解させながら鑑賞させる。	
						2
						3

科目（講座名）	音楽Ⅲ	2単位	自由選択
教科書	高校生の音楽 3	担当教諭	
副教材	Music Note		

学習の目標

・音楽の構造的な理解や西洋音楽への理解を重ねた上で、主体的な音楽活動への取り組みによって、より多面的で創造的な感性の育成を目指し、生涯において音楽を愛好する心を育てる。

授業内容

- ①『歌唱基礎』…ソルフェージュ・コールユーブンゲン・コンコーネ
- ②『表現活動』…合唱・器楽演奏
- ③『鑑賞』…ミュージカル等の総合芸術を中心とした音楽鑑賞

学習方法

『歌唱基礎』…コンコーネやコールユーブンゲンを使用し、毎時間1曲ずつ新しい曲を視唱する。
 『表現活動』…歌唱基礎の実践を踏まえて、より難易度の高い合唱曲を演奏していく。器楽で楽器の構造を知り、楽譜を読む体験を重ねていく。
 『鑑賞』…総合芸術としてのオペラ・ミュージカルを鑑賞し、多面的に音楽を理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	主体的に音楽活動に取り組み、積極的に音を出すことができる。
芸術的な感受や表現の工夫	楽譜を自ら読み取り、作曲家の意図を汲み取り演奏することができる。
創造的な表現の技能	演奏者自らの演奏意図や個性を出し工夫した演奏ができる。
鑑賞の能力	作曲家の時代背景や考えを理解し積極的な態度で音楽を聴くことができる。

評価方法

- ①年4回の実技試験を行う。
- ②鑑賞をした際の感想ノートを提出し、評価する。

芸術

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	2	オリエンテーション		
		4	『歌唱基礎』	・『コンコーネ』の第1番から毎時間一曲ずつ練習していく。	・固定ド読みで初見視唱ができるよう、なるべくたくさんの曲数に触れさせて基礎を養う。
	5	4	『2重唱』	・『ホールニューワールド』を同声2部で重唱する。	・純正律のハーモニー感覚を意識させて演奏させる。
		6	中間実技試験		
	6	6	『リズムソルフェージュ』	・4人一組で『クラッピングカルテット』を練習する。	・2曲とも、聴いて曲を理解するのではなく、音符の長さや意味を理解し、自ら楽譜を読んで演奏することを徹底させる。
		6	『同声4部合唱』	・『一番はじめは』を同声4部合唱で練習する。	
		7	2	期末実技試験	
2	9	4	『歌唱基礎』	・『コンコーネ』を毎時間一曲ずつ練習していく。	・1学期の続きの曲から始めていく。拍を右手でとりながら歌う唱法を取り入れる。
		8	『器楽』	・自由に班を組み、演奏する曲目・楽器を選択し、自主的に練習計画を練り、練習していく。	・過去2年間で習得した演奏技術が最大限発揮できるような選択ができるように指導する。
	10	2	中間実技試験		
		11			
	12	12	『混声4部合唱』	・『老鷄』を混声4部で合唱する。	・難易度の高い合唱曲なので、リズムのとり方や譜読みは、全員で丁寧に少しずつ進めて着実に定着するように留意する。
		2	2	期末実技試験	
3	1	1 6	『オペラ・ミュージカル鑑賞』	・西洋音楽史の研究として、様々な音楽を鑑賞する。感想をノートに書く。	・DVDなどの視聴覚教材を使用して、作曲家の意図を理解させながら鑑賞させる。
	2				
	3				

科目（講座名）	美術 I	2 単位	自由選択
教科書	Art and You 創造の世界へ	担当講師	
副教材			

学習の目標

- (1)対象や事象を捉え、造形的な視点の理解を深め、意図に応じた表現方法を創意工夫する。
 (2)主題を生成し、発想したり、構想したりする。
 (3)主体的に創造活動に取り組み、美術文化を愛好する。

授業内容

- 1) デザイン/マスキング色彩構成
- 2) 彫刻/粘土で心情表現
- 3) デザイン/オリジナル LINE スタンプ
- 4) 立体デザイン/BOX アート
- 5) デザイン/スクラップブック制作

学習方法

創造活動を通して造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ねる。

評価の観点

関心・意欲・態度	主体的に活動に取り組み、計画的に課題を完成させている。
芸術的な感受や表現の工夫	自分の表したい主題を見つけ、意図を構想している
創造的な表現の技能	材料や用具の特性などを生かして創造的な技能を働かせている。
鑑賞の能力	生活や社会の中の造形や美術の働きについて感じ、理解を深めている。

評価方法

1. 作品やワークシートの提出頻度 2. 美術作品の質の高さ 3. 出席状況、提出物など総合的に判断して評価

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	8	デザイン (マスキング 色彩構成)	① ケント紙水張り ② マスキングテープ 貼り付けと色塗り	・色彩構成について共通理解 ・画面分割と色と形が与える印象の違いについて解説 ・アクリル絵の具の特性とベタ塗りのコツを伝える
	5				
	6	10	彫刻 (粘土で心情 表現)	① アイデアスケッチ ② 心情イメージを造 形する	・心の中を色と形でイメージし やすいように色の配色と心理の 関連性を解説する ・針金を使って紙コップに安定 する形を工夫しながら作業手順 を考えて取り組む
	7				
2	9	8	デザイン (オリジナル LINE スタ ンプ)	①リサーチシートで既 存のスタンプを調査 ②アイデアスケッチ1で コンセプト考案 ③アイデアスケッチ2 でキャラに合致したス タンプを考案 ④清書して鑑賞する	・既存スタンプの模写をして特徴 について調べる ・コンセプトやターゲットユーザ ー像を決めてスタンプを具体的に 構想する ・複数の案の中から清書するスタ ンプを選び、メインビジュアル以 外に4パターン考えて清書する
	10				
	11	10	彫刻 (BOXアー ト)	① BOX 組み立て ② アイデア下描き ③ パーツの準備着色 ④ 仮置きを繰り返す ⑤ 設置決定	・BOX 内に自分の世界観の空間構 成をして表現するためのアイデ ア、構成方法を説明する ・使用するパーツは予め着色する ・仮置きを繰り返しながら奥行き などの見え方を考えて、設置場所 を工夫する
	12	8	デザイン (スクラッ プブック制 作)	①アイデアシートにペ ージ構成を記入する ②内容を深めページに 下描き・清書する	・スクラップ BOOK のテーマを 考え、表紙・裏表紙含む全ページ 分のアイデアを練り、シートに表 したい世界観をまとめる。

3	1 2			<p>③表紙・裏表紙の装飾に取り組み完成へと近づける</p> <p>④作品シートにテーマ・意図した世界観について・工夫点をよく整理し、まとめて記入し、提出する。</p>	<p>・配色や配置にデザイン的感覚を取り入れながら素材をコラージュ、着色して、意図した世界観を工夫して作り込む。</p> <p>・表紙や裏表紙の装飾に取り組み始め、様々な素材を使って構成し、スクラップ BOOK の世界観の入り口と出口部分をテーマに沿って意図的に表す。</p>
---	--------	--	--	--	--

科目（講座名）	美術Ⅲ	2単位	自由選択
教科書	美術3（光村）	担当講師	
副教材		平間みはる	

学習の目標

- (1)対象や事象を捉え、造形的な視点の理解を深め、意図に応じた表現方法を創意工夫する。
 (2)主題を生成し、発想したり、構想したりする。
 (3)主体的に創造活動に取り組み、美術文化を愛好する。

授業内容

- 1) デザイン/モダンテクニックで文字表現
- 2) 彫刻/理想の部屋作り
- 3) デザイン/CD ジャケットデザイン
- 4) 彫刻/ミニオブジェ制作
- 5) 絵画/コラージュ

学習方法

創造活動を通して造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ねる。

評価の観点

関心・意欲・態度	主体的に活動に取り組み、計画的に課題を完成させている。
芸術的な感受や表現の工夫	自分の表したい主題を見つけ、意図を構想している。
創造的な表現の技能	材料や用具の特性などを生かして創造的な技能を働かせている。
鑑賞の能力	生活や社会の中の造形や美術の働きについて感じ、理解を深めている。

評価方法

1. 作品やワークシートの提出頻度 2. 美術作品の質の高さ 3. 出席状況、提出物など総合的に判断して評価

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	12	デザイン (モダンテクニックで文字表現)	① 参考作品鑑賞	・課題説明と技法の確認をする ・別紙に各技法を練習して選んだ文字のイメージに近い技法を探る
	5			② 水張り ③ アイデアスケッチ ④ 枠下書き・技法練習 ⑤ 着色	
	6	10	彫刻 (理想の部屋作り)	① ワークシート	・部屋モチーフの作り方を実演 ・各素材を工夫して家具を製作 ・配置バランスを考えて空間構成
	7			② キッド組み立て ③ 壁面や床面の着色 ④ 家具や飾りの製作 ⑤ 配置構成して接着	
2	9	10	デザイン (CDジャケットデザイン)	①CDジャケットのリサーチ(分析)	・一般で発売されているCDジャケット(アートワーク)について調べる ・デザインしたい楽曲を決めて、楽曲とアーティストについて分析する。(楽曲の雰囲気、ジャンル、アーティストのプロフィール、歌詞の内容など)
	10			②楽曲の決定と分析 ③アイデアスケッチ ④下描き ⑤本描き・着彩	
	11	6	彫刻 (ミニオブジェ制作)	①抽象彫刻について調べる ②表したい感情の形を具体的に想像しながらアイデアスケッチする ③樹脂粘土で制作 ④土台とアクリルケース制作	・形が与える印象について理解する。形や色は様々な感情やイメージを生じさせることについて感じ方を深める。 ・自然物や人工物からイメージを得たり、感情から形を考えたりしながら重心やバランス、動きの感じを生かして、存在感や美しさを感じられるミニオブジェのアイデアを構想する。
	12	8	絵画 (コラージュ)	① コラージュ技法の理解と表現方法の把握	・コラージュ技法についてコラージュアートを検索して作品鑑賞

3	1 2			<p>②B4 パネルにキャンバス貼り</p> <p>③素材の切り抜き</p> <p>④モデリングペーストやメディウムなどを取り入れて、テクスチャをつけながらコラージュ表現をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンバス貼りのコツを伝える ・構成手順について素材の切り出し方や配置の工夫を理解する ・モデリングペーストやメディウムの使い方を把握して、作品に取り入れて活かす
---	--------	--	--	--	--

科目（講座名）		書道Ⅲ	2単位	自由選択
教科書	書Ⅲ		担当教諭	
副教材	ペン習字の基礎（教育図書）			

学習の目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の発展的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解をさらに深める。

授業内容

楷・行・草・篆・隸の作品、仮名の書の作品の臨書・鑑賞・創作

学習方法

古典の臨書・鑑賞を通じて表現の多様性を学び、それを生かして創作する。

評価の観点

関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
芸術的な感受や表現の工夫	書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
創造的な表現の技能	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけている。
鑑賞の能力	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。

評価方法

出席状況や授業態度、用具準備等の授業への取り組みによって評価する。毎回授業後に提出する作品や各学期末に提出する、まとめとなる作品の内容によって実技の評価を行う。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	2	オリエンテーション		
		8	楷書の学習	小楷を含む様々な楷書の臨書と鑑賞	原寸臨書をすることで、書者のリズムを追体験できるようにする。
		8	行書の学習	平安の三筆・三跡を含む様々な行書の臨書と鑑賞	中国の書と日本の書の違いに着目させる。
		8	表装について	様々な表装や表具の形式を知り、卷子や折帖作品の創作をする	なるべく実物を触ったり、見られたりするような教材を用意する。
2	9	8	草書の学習	明・清時代の作品を含む様々な草書の臨書と鑑賞	連綿の効果について考えさせる
		8	隷書の学習	碑学派の作品を含む隷書の作品の臨書と鑑賞	帖学派と碑学派の考え方の違いについて考えさせる。
		6	篆書の学習	碑学派の作品や、篆刻を含む篆書作品の臨書と鑑賞	
		4	創作	小作品の創作	文字の構成を工夫し、崩し方を考えさせる。
3	1	1 6	創作作品制作	今までの学習をもとに、漢字または仮名または漢字仮名まじり書の作品制作	同じ文字や、同じ部首を持つ漢字が似たような表現にならないように注意させる。
		2		鑑賞	
		3			